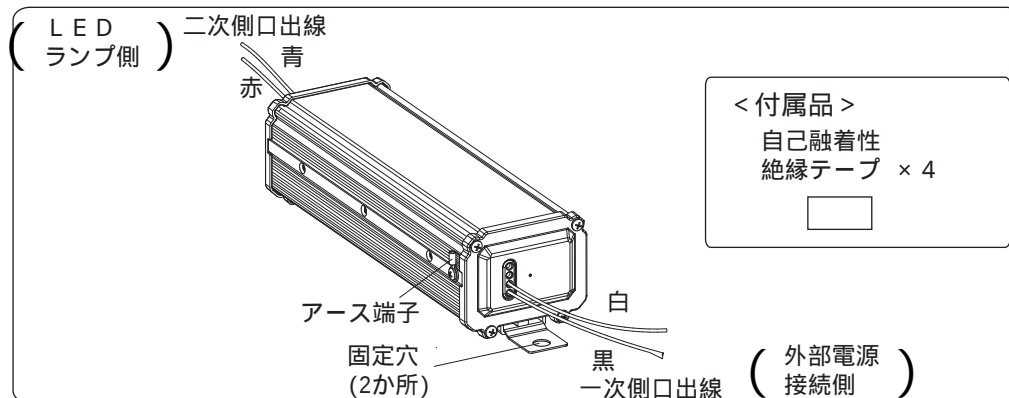


2. 各部の名前



3. 取り付けかた

1. 取り付け前に確認する。

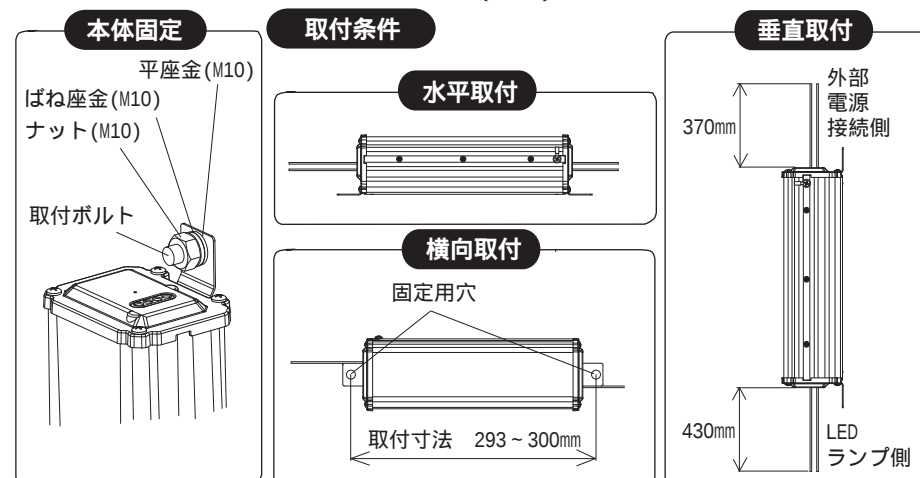
- 点灯装置の質量（表1）に十分耐える強度があるか、取り付け部を確認してください。

表1 点灯装置質量

形式	質量
WBK10CLN14B	1.4kg
WBK14CLN14B	
WBK19CLN14B	

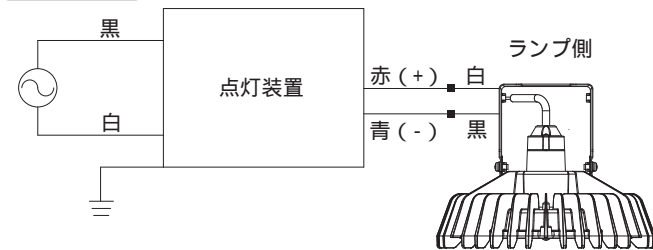
2. 点灯装置を取り付ける。

- 点灯装置の固定用穴へ取付ボルト（M10）にて確実に固定してください。



3. 電源線・アース線を取り付ける。

配線図



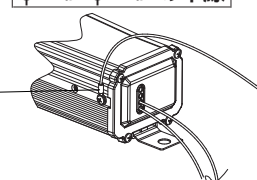
LEDランプは安全性を確保するため、ランプ側の白色の口出線を点灯装置のプラス側に接続してください。

取付施工例

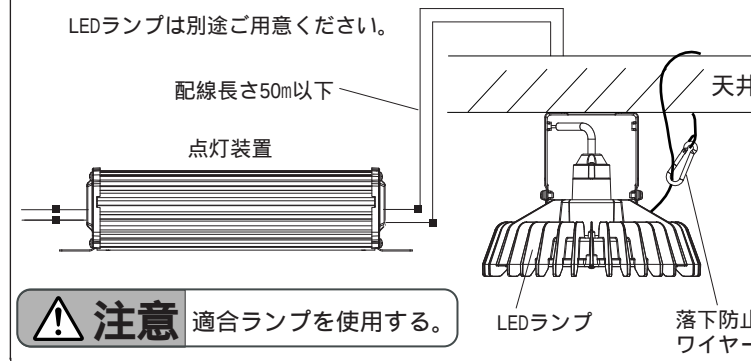
- 外部電源線は600V 2PN CTキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用してください。
- 電気設備の技術基準に従い、電源用口出線を確実に接続してください。接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因となります。
- アース工事は、D種（第3種）接地工事を確実に行ってください。

適合電線
φ16 φ20 の単線

アース端子

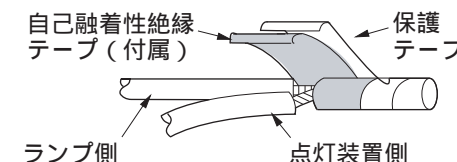


取付施工例



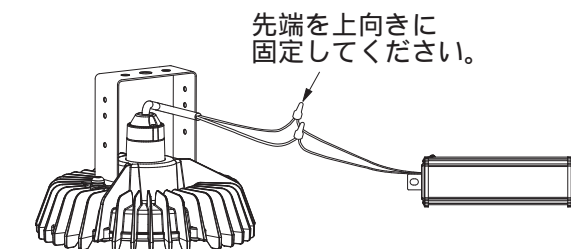
4. 配線接続後の処理

- 口出線接続部は付属の自己融着性絶縁テープを巻いて防水絶縁処理をし保護テープを巻いてください。防水絶縁処理は接続部のみでなく、シース（外被）部も含めて行ってください。



注意 接続・絶縁処理に不備があると火災・感電の原因となります。

- 湿気が入り込まないように、閉端子や差込形コネクタの先端が上向きとなるように固定してください。



5. 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認してください。

6. 正常に点灯するか確認してください。

お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立LEDランプ用点灯装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

1. 安全上のご注意(必ずお守りください)

警告



- 点灯装置を改造しない。火災・感電・落下による死亡やけがの原因となります。
- 点灯装置のすきまに、金属類を差し込まない。火災・感電の原因となります。
- 点灯装置を布や紙など燃えやすいものでおったり、かぶせたりして使用しない。火災の原因となります。
- 防爆形ではありません。ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんなど、引火する可能性のある場所では使用しない。火災・爆発の原因となります。



- 煙が出たり、異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切る。火災・感電の原因となります。
- お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因となります。

注意

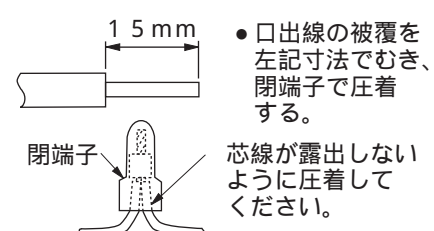


- 点灯装置の近くで温度の高くなるもの（ストーブなど）を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。故障や火災の原因となります。
- 油類、薬品などが付着する場所では使用しない。点灯装置破損によるけが・過熱の原因となります。
- 湿度の高い場所、塩素を使用している屋内プールでは使用しない。点灯装置破損の原因となります。
- 腐食性ガス・可燃性ガスの生じる場所では使用しない。点灯装置破損の原因となります。
- 調光機能の付いた照明器具および回路は使用しない。不点灯・短寿命の原因となります。
- 点灯装置の銘板に記載された電源電圧、周波数以外の電源で使用しない。点灯装置、LEDランプの短寿命の原因となります。

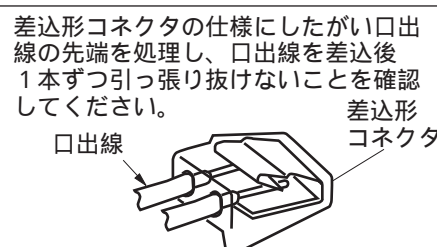


- 点灯装置は必ず適合するLEDランプと組み合わせて使用する。水銀ランプや、他社のLEDランプと組み合わせて使用した場合、ランプの破損・発煙・点灯回路損傷の原因となります。
- 冬季など、長時間使用しない施設では、周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電による感電の原因となることがあります。湿気対策として定期的に通電する。
- 明るく安全に使用するために、定期的に清掃・点検をする。3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施し、不具合がある場合は交換する。
- 点灯装置には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので、点検・交換する。

閉端子による接続



差込形コネクタによる接続



注意

- 手より結線は絶対にしないでください。接触不良となり、発火の原因となります。



手より結線のイメージ(悪い結線例)